

# 平成30年度

# 大山町決算の状況

平成30年度の一般会計、14の特別会計、水道事業、4つの財産区特別会計の決算の状況をお知らせいたします。

一般会計の決算額は、歳入が113億3032万円、歳出が106億208万円となり、翌年度への繰越事業の財源を差し引いた実質収支は6億1569万円の黒字となりました。

平成30年度は、「地域に誇りをもって住み続けられるまち」を目指し、住みやすいまちづくりや産業振興などの施策を実施し、人口減少対策を積極的に推進しました。その結果、合併以降初の人口社会増を達成することができました。

## 【決算の状況（一般会計）】

区分	平成30年度	平成29年度	対前年度増減額
歳入総額	113億3032万円	118億4748万円	△5億1716万円
歳出総額	106億208万円	112億3589万円	△6億3381万円
差引額	7億2824万円	6億1159万円	1億1665万円
翌年度に繰越すべき財源	1億1255万円	6542万円	4713万円
実質収支	6億1569万円	5億4617万円	6952万円

### 民生費

福祉事業などに要する経費

26億1154万円

### 総務費

管理事務全般、地域振興などに要する経費

16億9988万円

### 農林水産業費

農林水産業の振興に要する経費

16億5298万円

### 公債費

借入金の返済に要する経費

13億3835万円

### 教育費

学校や図書館、文化振興などに要する経費

10億643万円

### 土木費

道路・住宅整備などに要する経費

7億4215万円

### 衛生費

ごみ、し尿、病气予防などに要する経費

7億2035万円

### 商工費

商工業振興、観光振興などに要する経費

2億6488万円

### 消防費

消防・防災対策に要する経費

3億7154万円

### その他

災害復旧費、議会運営などに要する経費

1億9398万円